

■「花と笑顔」こども絵画コンクール■

8月9日(土)に第6回「花と笑顔」こども絵画コンクールの表彰式が小田急百貨店町田店で開催されました。このイベントは「笑顔にしたいあの人へ花の絵のプレゼント」というテーマで全国から多くの絵がハロードリーム実行委員会の方に寄せられます。その後、小田急百貨店町田店で全ての作品を展示、さらにその中から入賞作品を決定します。表彰式では小田急百貨店賞を受賞した9人の子ども達が順番に賞状と景品を受け取りました。最初泣き出してしまう子もいましたが、終始和やかな雰囲気で行われ、子ども達にとっては良い夏休みの思い出となった事でしょう。また、親御さんも子ども達の貴重な晴れ舞台を見れて嬉しかったに違いありません。そんな笑顔の生まれる場を世の中に提供しているのもハロードリームの1つの魅力なのかもしれません。今後もみんなの笑顔の為に続けていって欲しいと感じました。

ハロードリームの代表理事、小巻亜矢さんは同じテーマで絵を描くとしたらお母様に「元気でいてくれてありがとう 長生きしてね」というメッセージを込めてナデシコのブーケの絵にしたいそうです素敵ですね♪



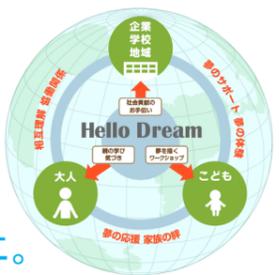
←表彰式の様子

NPO法人

ハロードリーム 実行委員会

■ハロードリーム実行委員会とは■

皆さんは夢ってありますか？子どもの時に夢を一度も描いた経験がない人はいないと思います。子どもの描く夢は大小さまざま想像力にあふれているに違いありません。私の子どもの頃に描いた夢を思い出してみると、アニメのキャラクターになりたいというような事も言っていました。純粋な頭で描いた夢はたとえ現実的な物でなくてもそれはかけがえない物になるでしょう。こういった「こども夢をはぐくむ社会になる」ことを目指して立ち上がったのがハロードリーム実行委員会です。「夢」を通してこどもと大人さらには世界全体までもつながる「かけはし」となるようセミナーやイベントを開催しているNPO法人です。北は北海道から南は沖縄まで開催実績は大きさは全国規模！2012年には全ての都道府県でハロードリーム主催のセミナー・イベント開催が実現したそうです。この事からもハロードリームの輪は確実に広がっている証拠ではないでしょうか？あなたの住む県でも開催しているかもしれませんよ！子どもたちは夢を描くということ、大人たちはその姿を見て笑顔にまた夢を見つめなおしてみたり、夢の再発見をハロードリーム実行委員会を通じて行ってみてください。きっとかけがえのない物となるに違いありません。

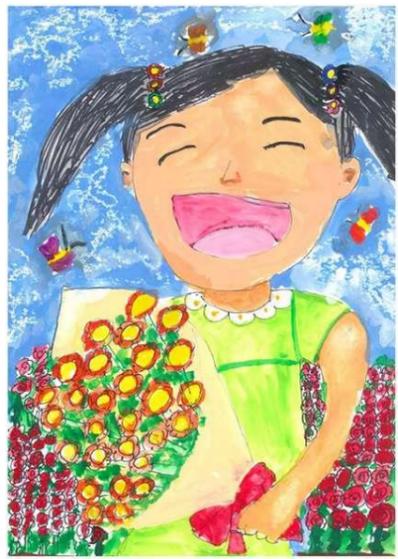


↑事務局のみなさんと一緒に。

■勝手に決定！有我健吾賞！■

「花と笑顔」子ども絵画コンクールに送られてくる作品は小学校6年生から下はなんと1才の子までさまざま。どれも思いが込められた絵ばかりで初めて見た時は思わず感動してしまいました。なので、今回は有我健吾賞(仮)と題しまして自分だったら賞をあげたい作品を紹介したいと思います！すべての作品が公式HPで確認できるのであなたなりのお気に入りの作品を探してみるのも面白いですよ～！

太田 流楓さん
(愛知県 5歳)の作品。→
花束はもちろん、後ろの背景にもお花畑が一面に描かれており本当に花が好きなんだということが伝わってきました。また、人の表情も印象的でこちらも思わず笑顔になる心のこもった作品でした！



↑井上 葵生さん
(東京都 5歳)の作品。
よく見るとさまざまな色が使われており、本当に鮮やかだなと感じ、塗り方もいろいろで工夫が至る所に盛り込まれていました。中央に大きく描かれた花も印象的で見て引き込まれる作品でした！



↑小田急百貨店にて作品の貼り付け作業も手伝わせて頂きました！



←準備を行うお手伝い隊のみなさん

発送作業本当にお疲れ様でした！→



■華やかなイベントの裏側では■

私がインターンシップとして参加した8月5日には大崎の事務局や小田急百貨店町田店で8月19日には同じく大崎事務局にて「花と笑顔」子ども絵画コンクールの準備が行われました。その際には多くのボランティア(通称お手伝い隊)のみなさんも協力してくれました。Facebookやメーリングリストなどを通じて毎回集められるお手伝い隊の皆さんは職業や年齢は違えど、それだけハロードリーム実行委員会の活動に賛同してくださっている証だと感じる瞬間でもありました。また、そういったさまざまな方面からやってくるお手伝い隊のみなさんをまとめる事務局の方々の姿も輝かしく見えました。

■実行委員会会議■

ハロードリーム実行委員会では年度毎に実行委員を公募し、イベントの細かな運営方針の決定や広報活動などを行っています。インターンシップ中には8月・9月の会議に参加させていただきました！議題はきたる夢の日イベントの事が中心で着々と準備が進行しているなという印象を持ちました。また、会議といえど堅苦しい感じはなく和気あいあいと行われる姿にはハロードリームらしさも感じました！実行委員になるというのもハロードリームに関われる大きな手の1つなのかもしれませんね☆



■小巻さんはこんな方■

ハロードリーム実行委員会代表理事の小巻亜矢さんにお言葉を頂きました！

インターンシップを行う事で学生・地域・企業に関係が生まれ新しい可能性が起こる事を知り、学生に来てもらう事でハロードリーム内にも新しい風を吹き込んでもらいたいとの事でインターンシップの受け入れを始めたそうです。笑顔になる瞬間は数多くあるそうなのですが中でも息子さんの成長を見るのが一番の事だそうです。子ども関係の事がなによりも小巻さん自身の笑顔スイッチでもあるそうです。また、自分の夢をキャラクターに託したメッセージを世界中から集める「キャラクターズサミット」の開催を2020年までにハロードリームとして行う事が夢だそうです。そんな夢と笑顔でいっぱいの方がハロードリームの先頭に立っています。

■夢の日イベント■

ハロードリーム実行委員会では毎年11月1日を夢の日、その前後を夢の日ウィークスとして全国でイベントを開催しています。過去には大きな会場を借りてコンサートイベントを行った事もあるハロードリームを代表する活動の1つになっています。中でも1年後の自分に手紙を書こうという夢レターもあります。書いた手紙は事務局で保管し1年後に自分の元に郵送されます。タイムカプセルに埋める手紙のようで素敵な企画ですね♪



夢レター→



■笑顔のコーチング■

皆さんは最近笑顔になったことって浮かびますか？毎日の暮らしで笑顔を増やすにはどうしたらいいだろう？笑顔のコーチングでは家庭や職場などお互いの笑顔を引き出すコミュニケーション方法を紹介する体験型の講座です。

私は9月7日に大崎で行われた笑顔のコーチングに参加させていただきました！この日は栃木や愛知から来た方、また親子での参加の方もいてハロードリームの広さを改めて感じる瞬間でした。

笑顔になった体験や笑顔になるスイッチを頭で考えて口に出してみると気持ちいい物で、自然と笑みがこぼれてしまいました。グループワーク中心の内容には

2時間のプログラムがあっという間に感じました！そして顔と顔を合わせたコミュニケーションの大切さも実感しそれが笑顔への近道なのだと思います。

A.笑顔を増やしたい人・届けたい人がいる事が知れる事。
Q.ハロードリームに関する夢は？
A.毎日どこかで笑顔のコーチングをやっている世の中にしたい。

Q.本日の感想は？
A.関心を持ってくれる熱意のある方が全国から集まり笑顔の種をまけたと思います。
Q.セミナーを開催してやりがいを感じる事は？

■実行委員長に直撃■

笑顔のコーチング終了後今回の講師を務めた2014年ハロードリーム実行委員長でもある石田智子さんにお話を伺いました

■編集後記■

インターンシップでは他の大学生に自信を持って自慢できるぐらい貴重な体験をさせていただき多くの事を学ばせていただきました。今後もハロードリームの輪が日本はもとより世界にも広がっていきますよう願っています。

■ちょっと一息...zzz■

私がインターンシップ期間中で思わず笑顔になってしまった体験を1つご紹介します！それは事務局のあるゲートシティプラザで行われた福引イベントで500円の商品券が当たったことです。当たらないよりは当たった方がまし(笑) 嬉しかったです！



笑顔のコーチングの様子→



少人数のグループに分かれアットホームな雰囲気で行われるのもセミナーの魅力の1つです。→



笑顔のコーチング終了後に石田さんと記念に一枚！→ 楽しい時間をありがとうございました！

